

## カレンダーをつかって

8月のカレンダーを見ながらの会話です。・・・

お父さん「カレンダーの数字の並びには、おもしろい仕組みがあるよ。たとえば、5, 6, 7のように、横に3つ並んだ数を加えて平均を求めると、真ん中の数になるんだよ。」

かずお「本当だ。」

「ねえ、斜めに3つ並んだ数15, 23, 31でもなるよ。」

お母さん「よく見つけたわね。では、これはどう? 2, 3, 9, 10のように2×2の四角形に並んだ数字を2+10, 3+9のように斜めにそれぞれ加えると、同じ数12になるわよ。」

かずお「さらにそれを、3×3の四角形に広げて、2+10+18, 4+10+16と加えても同じ数30になるよ。これは、4×4の四角形に広げて同じことが言えるよ。」

お父さん「すごいぞ、かずお。ちなみに、さっきの9つの数の合計は、中央にある10の9倍、90になるんだよ。他のところでもそのようになっているか、調べてごらん。」

かずお「12, 13, 14, 19, 20, 21, 26, 27, 28のところでも、9つの数の合計が、中央にある20の9倍、180になっているね。」

「ねえ、ぼくも発見したよ。日曜日の数と金曜日の数をたすと、必ず7の倍数になるんだよ。たとえば、日曜日の29と金曜日の6をたすと35、日曜日の1と金曜日の20をたすと21でしょう。カレンダーって、すごくおもしろいね。」

8月 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	⑳	㉑
22	23	24	25	26	27	28
㉒	30	31				

日常なにげなく見ているカレンダーの中にも、お子様が興味・関心を抱くような不思議な数字の並びが見られます。ぜひ、お子様のやる気をほめながら、創造力をはぐくんでください。お子様の豊かな発想が引き出せたり、お子様が学ぶ楽しさを感じることができたら大成功です。ご家庭の会話の中で、楽しみながら、お父さん、お母さんと一緒に、算数を学ぶ。きっと、お子様は、算数が好きになるはずです。